

第5回うみかぜシンポジウム：子どもの発達と運動遊び

滋賀県立大学子ども未来応援プロジェクトでは、子どもたちの健やかな育ちを応援するため、さまざまなとりくみをおこなってきました。発達心理学、栄養学、助産学分野の研究をはじめ、母子支援活動を進めて、子育てに携わっているみなさんと幅広く連携していきたいと考えています。今年度は「第5回うみかぜシンポジウム：子どもの発達と運動遊び」を開催することになりました。本シンポジウムでは、発達の障がいや困難、気になるところのあるお子さんの育ちを見守り、支えておられる保護者、保育士や教員、臨床発達心理士など子育て支援にかかわる方々とともに、運動遊びへのとりくみの意義を理解し、今後の実践を充実したものにするための情報を分かち合う場となることをめざしています。多数のご参加をお待ちしております。

<シンポジウム内容>

講演①「生涯発達からみた運動の育ちと支援」

澤江 幸則氏（筑波大学体育系 准教授 教育学博士・臨床発達心理士）

筑波大学大学院修士課程体育学専攻修了後、横浜市リハビリテーション事業団北部地域療育センターで児童指導員として療育に従事。その後、東北大学大学院博士後期課程教育心理学専攻に編入学、発達心理学を学び修了。文京学院大学専任講師を経て現職に至る。現在、発達障害児の運動発達支援をテーマに実践と研究を行っている。実践として、主に発達障害のある子どもを対象とした家族参加型のスポーツ教室で余暇活動支援と、リソースルームにて、アセスメントを含めた個別の運動発達支援を実施している。

<主な著書>「運動発達の問題・障害と支援」（発達科学ハンドブック6「発達と支援」）、2012年、新曜社、「子どもの運動能力を育てる保育」（シードブック障害児保育）、2012年、建帛社、「動きをつくる」実践障害児教育7月号、2012年、「思春期・青年期の運動発達と身体活動支援」発達教育368、2011年。

講演②「運動遊びが困難な子どもたちへの支援 —理学療法士の立場から—」

高塩 純一氏（びわこ学園医療福祉センター草津 理学療法士）

理学療法士免許取得後、茨城県厚生連取手協同病院、京都大学医療技術短期大学部理学療法学科勤務を経て、1988年に現職、社会福祉法人 びわこ学園医療福祉センター草津 勤務にいたる。現在は 関西医療学園専門学校理学療法学科講師および同志社大学「こころの生涯発達研究センター」共同プロジェクト研究員を兼務し、姿勢や運動に障がいのある子どものために生活世界を広げる機器の開発にもとりくんでいる。

<主な著書>「赤ちゃん学を学ぶ人のために」（共著）、2012年、世界思想社。

パネルディスカッション

上記2氏とトランポリンを学生と楽しむ親子のグループ「にじいろkids」と障がいのある子と保護者の共助サークル「みんなあつまれ」の代表メンバー

日時：2013年3月23日（土）13時30分～16時30分

会場：滋賀県立大学交流センター2階研修室5・6

参加費：無料（事前申し込みも必要ありません）



▼ JR南彦根駅からバスで13分/タクシーで8分 ▼ JR彦根駅からバスで16分/タクシーで10分



主催：滋賀県立大学子ども未来応援プロジェクト
障がいのある子と保護者の共助サークル「みんなあつまれ」
後援：日本赤ちゃん学会

<問合せ先> 滋賀県立大学子ども未来応援プロジェクト
〒522-8533 彦根市/坂町2500
滋賀県立大学人間文化学部 竹下秀子研究室気付
子育て応援ラボうみかぜ
Tel: 090-7343-2405 Fax: 0749-28-8559
E-mail: usp-umikaze@nifty.com
URL: <http://umikaze.sub.jp/kodomo/home.html>